

新見市立新見第一中学校 令和3年度 特別活動実施計画書 校長 小藤 一成 (公印省略)														
指導の重点	○専門委員会の活動を充実させ、生徒主体の取組にする。 ○ZOOMなどのICTを活用し、魅力ある全校集会を企画する。 ○1分間スピーチを、学年ごとにレベルを設定し習慣化する。 ○学級での協同的なグループ活動を意図的に設定する。													
生徒会活動	生徒評議会代表委員会		生徒集会				各種委員会							
	年間予定時数		参加学年		年間予定時数		参加学年		名称		年間予定時数			
	4 時		全学年		6 時		全学年		・保健委員会・整美委員会 ・交安委員会・図書委員会 ・文化委員会・体育委員会 ・給食委員会・生活委員会 ・報道委員会 ・学校週番委員会 ・選挙管理委員会 ・ボランティア友の会		10 時			
学校行事	学区		1		2		3		備考		実施予定時数を記入のこと。			
	儀式的行事		6		7		6							
	文化的行事		4		4		4							
	健康安全・体育的行事		10		10		5							
	遠足・集団宿泊的行事		5		6		8 (9)							
	勤労生産・奉仕的行事		5		8 (8)		2 (4)							
	計		30		35 (8)		25 (13)							
学級活動	内	(1) 学級や学校における生活づくりへの参画			(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全					(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現			計	
		ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ		
	学年	学校や学級における生活上の諸問題の解決	学級内における組織づくりや役割の自覚	学校における多様な集団の生活の向上	自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成	男女相互の理解と協力	思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応	心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成	食育の観点から踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成	社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の利用	社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成	主体的な進路の選択と将来設計		
		1	5	5	5	4	4	4	4	4	5	5	5	50
		2	5	5	5	4	4	4	4	4	5	5	5	50
		3	3	3	3	3	2	3	3	2	3	5	5	35
	備考	1単位時間、1/2単位時間扱い等の合計時数を記入すること。												

令和3年度 特別活動全体計画

新見市立新見第一中学校



令和3年度 第1学年 学級活動 年間指導計画					
学期	月	題 材	ね ら い	内 容	区分
1 学 期	4	中学校生活の 出発	中学校生活の特色を知らせ，希望と抱負を持たせて，中学生としての自覚を育てる。	学級開き，自己紹介，担任の抱負，中学校生活の概要	(2)
		学級組織を 作ろう	学級の係を分担させることによって，所属感を持たせ，協力していく態度を育てる。	学級の係，班づくり，班活動の目標と分担，掲示物の作成	(1)
		学級目標を 作ろう	学級の目標を立せさせ，進んで目標に向かって努力しようとする意欲を育てる。	どんな学級にしたいか，学級目標を実現するために	(1)
		宿泊研修に 向けて	宿泊研修に向けての心構えや分担を決める	目標，注意事項決定，合唱大会に向けて	(2)
		安全な通学	安全に通学させるために自転車の乗り方の確認や交通ルールについて考えさせる。	望ましい交通ルール，交通教室	(2)
	5	学習の計画	中学校での学習の計画を立てさせ，それを実行しようとする意欲を高めさせる。	中学校での学習 学習計画の留意点 学習計画と実行	(2)
		私の将来	自分の将来について，夢や希望を持たせ，今どうしなければならないかを認識させる。	将来の希望 希望の実現にむかって 希望が実現したら	(3)
	6	進路の学習	進路学習の必要性や内容を理解させ，今後の進路の学習への関心をもたせる。	進路学習の必要性 進路学習の内容	(2)
		歯の健康	歯の健康は，食生活の要であり，心身ともに，健康で充実した毎日	歯磨きチェック 心身の健康	(2)

	7		を送るために、歯のことを、いま一度考えさせる。		
		生命の誕生	性に関する課題と直面する生徒に正しい知識や行動選択を身につけさせる。	第2次性徴 異性とのつきあい方 生命尊重	(3)
		夏休みの 生活設計	自主的な計画を立てて，夏休みを有意義なものにしようとする意欲と態度を養う。	夏休みの目標 夏休みの生活設計 学習計画	(2)
2 学 期	9	生活のリズムを 取り戻そう。	夏休みの生活を反省し，これからの生活目標・学習目標を考えさせる。	夏休みの反省 目標の設定	(2)
		運動会を盛り上げよう	運動会を素晴らしいものにするために，各自が自分の責任を果たし協力する態度を育てる。	運動会の意義と心構え 参加の計画 練習計画	(1)
		文化祭を盛り上げよう	文化祭を素晴らしいものにするために，各自が自分の責任を果たし協力する態度を育てる。	文化祭の意義と心構え 参加の計画 練習計画	(1)
学期	月	題 材	ね ら い	内 容	区分
2	10	授業態度について考えよう	授業態度を反省させ，より意欲的，積極的に授業に参加しようとする態度を育てる。	授業態度の反省 授業にむかう心構え	(2)
		家庭学習の工夫	家庭学習を工夫させ，より充実した家庭学習に進んで取り組もうとする態度を養う。	家庭学習の問題点 家庭学習の改善 家庭学習への取り組み	(2)
		読書生活について	読書で学ぶ「生きる力」の大切さ	心に残っている本	(2)

学 期		て考えよう	に気づかせ、豊かな読書生活を送ろうとする態度を育てる。	読書の意義 読書と人生	
	11	校内生活の安全	校内の中で起きやすい事故について知らせ、事故防止のための対策を考えさせる。	事故の原因 事故の防止	(2)
		わたしの悩み	悩みや不安の解決方法を知らせ、悩みや不安を早く解決していこうとする態度を養う。	悩みや不安の解決 教育相談	(2)
		身近な職業	身近な人々の職業について、情報を交換させ、職業への関心を高めさせる。	職業につく意味 身近な人の職業 興味を持った職業	(3)
	12	人権について考えよう	人権について正しく認識させ、自他の人権を尊重していこうとする態度を育てる。	基本的人権とは お互いの人権を尊重するために	(2)
		冬休みの計画	今までの反省し、冬休みを有意義に過ごそうとする意欲を育てる。	今まで学習・生活の反省 冬休みの過ごし方	(2)
3 学 期	1	新しい年を迎えて	新しい年の生活への意欲を持ちあげ、新たな気持ちでこれからの生活に取り組ませる。	後期のまとめ 今後の目標 今年の決意	(2)
		私の特徴	自分の特徴を知り、よりいっそう自分を伸ばしていこうとする意欲を持たせる。	現在の自分 自分の特徴 自分を伸ばすには	(2)
		高等学校について知ろう	高等学校について情報を与えて理解させ、進路への関心をもたせる。	高等学校進学のための 高等学校や学科の種類 進路の決定に当たって	(3)
		健全な異性観と行動	健全な異性間を育てるとともに、異性に対しての正しい行動のあり方を考えさせる。	正しい異性観 異性への正しい行動の仕方	(2)

2				
	わたしの 進路計画	進路への関心を高めさせるとともに、現在の生活の大切さを認識させる	進路計画の作成 現在の生活の大切さ	(3)
3	1年間の思い出をつづろう	自分の1年間の思い出を各月毎にまとめさせ、成長を確かめさせる。	1年間の思い出	(2)
	1年間の反省をしよう	1年間の自分や学級生活を振り返らせ、2年生になる心構えを養う。	自分の反省 学級生活の反省 2年生になる心構え	(2)

令和3年度 第2学年 学級活動 年間指導計画					
学期	月	題 材	ね ら い	内 容	区分
1 学 期	4	2年生としての自覚	中堅学年としての自覚を持たせ、学校生活の場で自主的に行動する意欲を持たせる。	2年生の立場や役割生活上の心構え自分の目標の設定	(2)
		学級組織を作ろう	学級の係を分担させることによって、所属感を持たせ、協力していく態度を育てる。	学級委員の選出生活班及び係の構成仕事内容の確認	(1)
		学級目標を作ろう	学級の目標を立せさせ、進んで目標に向かって努力しようとする意欲を育てる。	学級目標の意義具体的な小目標の決定自分の決意	(1)
	5	校外活動を有意義なものにしよう	校外活動の意義を理解するとともに生徒の主体的な態度を育む。	校外学習の意義・目的全体計画の確認	(2)
		計画的な学習	学習態度の向上をめざし、日課表の作成を中心に学習計画を立てさせる。	今までの学習計画の反省日課表の作成学習ポイントの考案	(2)
		様々な先輩たちの進路	先輩の進路を具体的に調べ、上級学校の種別、課程、制度について学ばせる。	先輩の進路調べ上級学校の種別等の違い自分の将来の生き方	(3)
	6	自分をみつめて	自己の特性を把握し、能力や個性の伸長を図ろうとする態度を育てる。	自己の特性の特徴能力・個性伸長の方法学ぶことの意義	(2)
		学ぶ目的	おとなの「学ぶ」態度を参考にし、学ぶ目的を考えさせ、意欲的な生活態度を育てる。	「学ぶ」ことについてのおとなからのアンケート学ぶ目的	(2)
		たばこの害について	成長期の中学生のたばこの害や副流煙について学び、正しい認識や考え方を育てる。	たばこの害副流煙について	(2)

	7	性情報について	性の情報源には様々なものがあり、正しい性情報を選択する大切さを身につけさせる。	性の商品化、正しい性情報を選択する能力、自己の性意識の確認	(2)
2 学 期	9	夏休みの生活設計	一人一人が自主的・自立的な生活を送るため、計画を意欲的に実践する態度を養う。	夏休みの学習計画夏休みのしおり夏休みの目標の設定	(2)
		生活のリズムを取り戻そう。	夏休みの生活を反省し、これからの生活目標・学習目標を考えさせる。	夏休みの反省目標の設定	(2)
		運動会を盛り上げよう	運動会を素晴らしいものにするため、主体的態度や成員相互の連帯意識を高める。	学級の団結の意義係分担と計画選手の選出	(1)
		文化祭を盛り上げよう	文化祭の意義を理解し、生徒の創意工夫を生かした自発的な活動意欲を高める。	文化祭の意義参加方法の検討役割分担	(1)

学期	月	題 材	ね ら い	内 容	区分
2 学	10	職場体験を有意義なものにしよう 1	ふるさと職場体験の意義を理解し、「働くこと」を実際に体験し、その苦労や喜び、社会人としてのマナーを身につけさせる。	職場体験の目的体験する職場の決定注意すること	(3)
		職場体験を有意義なものにしよう 2		職場体験のまとめ学習を終えてお礼の手紙	(3)
		学習の充実	自分や学級全体の授業態度を反省し、学級としての改善点や対策を考えさせる。	学習の問題点問題点の原因と理由改善点と対策	(2)

期					
	11	健康で 安全な生活	日常生活のあり方を反省し，健康で安全な生活の維持・増進に努めようとする態度を養う。	急速な成長 生活のリズムと健康	(2)
		目の健康に気を 付けよう	視力の低下の要因と弊害を理解させるとともに，目の病気についても知らせる。	屈折異常の種類 病気と予防	(2)
		生徒会を 盛り上げよう	生徒会について調べ，活発にする方法を考えさせたり，学級からの候補者を決めさせる。	生徒会調べ 生徒会を活発にする方法 学級からの候補者の決定	(1)
	12	エイズ教育	免疫機能の仕組みについて理解する。	病気の免疫とエイズ	(2)
		冬休みの生活設計	今までの学習の取り組みや生活を反省し，冬休みの生活設計を立てさせる。	今後の対策 冬休みの課題と目標 冬休みのしおり	(2)
3 学 期	1	新年の抱負	新年の希望や抱負を考え，この1年間の目標を持たせる。	抱負の発表 個人目標の決定	(2)
		就きたい職業 適した職業	将来つきたい職業が，自分に適しているか吟味させ，職業適性について考えさせる。	職業適性の意義 自分の就きたい職業	(3)
		自分を見つけて	自分の長所・短所を正しく理解し，自分の能力や個性の向上を図ろうとする態度を養う。	自分の長所・短所 友人から見た自分 今後の努力点	(2)
	2	男女交際	異性に関心をもつ時期に，友情と恋愛の相違や正しい男女の交際の意義を考えさせる。	友情と恋愛の相違点 男女交際の意義とルール やエチケット	(1)
		進路計画を	将来の自分の姿を想像し，希望実	将来の職業・理想の家庭	(3)

		振り返って	現のための進路計画・学習方法のあり方を考えさせる。	進路計画・学習方法の改善，将来の予想図	
	3	修学旅行の準備をしよう	修学旅行を楽しく，自主的なものにするために，事前研究を行う。	意識調査 事前研究	(3)
		私の通知票	1年間を反省し，3年生を迎えるに当たっての心構えをもたせる。	生活・学習の評価 3年生への心構え	(2)

令和3年度 第3学年 学級活動 年間指導計画					
学期	月	題 材	ね ら い	内 容	区分
1 学 期	4	最 上 級 生 と としての自覚	3年生としての役割や心構えを話し合い、自らの決意を固めさせる。	最上級生としての自覚 役割や係としての反省 個人の決意	(2)
		学級組織を作ろう	学級の係を分担させることによって、所属感を持たせ、協力していく態度を育てる。	係活動アンケート 係とメンバーの決定 班編制と班活動の意義	(1)
		学級目標を作ろう	学級の目標を立せさせ、進んで目標に向かって努力しようとする意欲を育てる。	一人一人の考えた目標 それらを集約した目標 目標達成の決意	(1)
	5	楽しい修学旅行にしよう	修学旅行を楽しく充実したものにするため、目的や参加の仕方を考える。	修学旅行の目的、個人の準備、日程、心得、旅行のための役割分担	(1)
		私の個性	進路選択のために、自分の個性、能力、適正などを総合的に見直しさせる。	自己理解の大切さ 自己理解の仕方	(2)
		学習生活の見直し	3年生としての学習のあり方を考えさせ、自分に阿あった学習方法を考えさせる。	学習の反省、効果的な学習方法、家庭での学習生活計画表の作成	(2)
	6	生徒会活動を盛り上げよう	生徒会について考え、問題点や活性化の方法を探ることで、自治意識の高揚をはかる。	現在の生徒会の分析 生徒会活動の意義 クラスからの意見・要望	(1)
		わたしたちの将来	自分らしい生き方、生きがいを考えながら自分の一生の進路について考えさせる。	生きがいについて 個性を生かす進路 10年間の生活・夢	(2)
		薬物について	薬物による各種の害を理解させることによって、薬物を使用しない態度を育てる。	薬物の種類 薬物による各種の害 身体への影響	(2)

	7	男女の交際	異性との交際での悩みや男女の正しいエチケットについて話し合い、考えさせる。	異性との交際上の悩み 仮の相談 男女交際のエチケット	(3)
		夏休みの生活設計	中学校3年生として将来につながる充実した夏休みを過ごすために、目標を持たせる。	3年生の夏休みにしておくべきことの確認、目標づくり	(2)
	9	生活のリズムを取り戻そう。	夏休みの生活を反省し、これからの生活目標・学習目標を考えさせる。	夏休みの反省 目標の設定	(2)
		運動会を盛り上げよう	運動会をすばらしいものにするための心構えや参加の仕方について認識させる。	中学校生活最後の運動会の意義、参加の仕方、計画実施に向けての意欲	(1)
		文化祭を盛り上げよう	生徒の創意工夫を生かした自発的な活動意欲を高め、学級の参加方法や計画を考える。	文化祭の意義 参加方法の検討 役割分担と準備計画	(1)

学期	月	題 材	ね ら い	内 容	区分
2	10	学習生活の定着	学習の仕方や学習内容を確認し、一層自発的な学習をしていこうとする態度を養う。	学習についてのアンケート、学習の仕方の工夫・改善	(2)
		進 路 選 択 と その悩み	進路選択のときに生じる悩みや不安の解消の手立てを身につけさせる。	悩みのアンケート 不安や悩みの解決の仕方 自己分析	(3)

学 期				
		進路の決定に向けて2	これまでの進路の学習をもとに，自信を持って進路の選択ができるようにさせる。	進路選択のための確認表の作成，進路先の判定 (3)
	11	進路情報の活用	高校生活や職場の情報を知りそれを参考に，自分の卒業後の進路について考えさせる。	卒業生や体験入学から得た進路先の情報の理解・決定に向けての活用 (3)
		進路と適応	自分で進んで行うことの大切さを知らせる。受験前の心構えについて考える。	応募の手続き，日程 これからの生活 (3)
		交通安全と防災	交通事故，他の事故や災害について関心をもち，事故に対する判断力・行動力を養う。	交通事故・災害の状況 交通事故・災害の原因 交通事故・災害の予防 (1)
		学級の諸問題を解決しよう	助け合い協力するために，学級生活の問題を協力して解決させる。	学級の現状分析 学級生活の問題点 対策の検討 (2)
	12	冬休みの生活設計	今までの学習・生活を反省し，冬休みの課題を見つけ，計画を立てさせる。	学習・生活の反省 冬休みの生活 (2)
		新年の抱負	新年の抱負を考え，進路決定に意欲的に取り組む態度を育てる。	学年当初の目標の見直し 個人目標の設定 (3)
	3	受験期を迎えて	不安な悩みを互いに出し合い心に落ち着きと余裕をもって受験前を過ごす態度を養う。	受験生の悩み 入試直前の心構え 進路スケジュール (2)
		わたしの受験プラン	それぞれが選んだ進路先の受験日程を確かめ悔いの残らない進路決定をさせる。	進学，就職の受験日程表・自分の受験プランの作成，面接試験の心構え (3)

	2	性に関する望ましい態度	性のもつ意義や男女相互の敬愛，幸福な生き方などについて考えさせる。	自分の結婚のイメージ 性心理の男女差 性の意義，幸福な人生 (2)
		卒業文集を作ろう	中学校生活の思い出を文集にして残そうとする態度を育て具体的な計画を立てさせる。	文集作成の意義 仕事の分担 編集日程 (1)
	3	将来の生活への心構え	卒業後の生活に予想される様々な問題に対する心構えや解決の方法を考えさせる。	高校生活への適応 職場生活への適応 (2)
		卒業とわたしたちの決意	新しい生活への決意と，後輩に残す言葉などを考え，中学校生活のまとめをする。	中学校生活を振り返って現在の心境，在校生へ残す言葉，わたしの決意 (3)

令和3年度 学級活動の進め方

1 内容

学級活動においては、学級を単位として学級や学校へ適応を図るとともにその充実と向上、生徒が当面する諸課題への対応及び健全な生活態度の育成に資する活動を行うこと。

- (1) 学級や学校の生活の充実と向上に関すること。
- (2) 個人及び社会の一員としてのあり方、健康や安全に関すること。

2 目標

集団生活を通して、生徒の自主性及び自己を生かす能力を養うとともに、円滑な社会生活を営む生徒の育成。

3 学年別重点目標

- 1年生
 - ・基本的生活習慣の定着を図る。
 - ・自分の役割を責任を持って果たし、協力し合える学級を作る。
 - ・より良い人間関係を築くことができる社会的スキルを身につけさせる。
- 2年生
 - ・友達の良さを認め、協力し合う、まとまりのある学級を作る。
 - ・自己の個性や能力について理解を深めさせ、将来に展望を持たせる。
 - ・より良い人間関係を築くことができる社会的スキルを身につけさせる。
- 3年生
 - ・最上級生としての自覚を持たせ、積極的に活動させる。
 - ・進んで自己の責任を果たし、集団の向上に寄与させる。
 - ・自己を再認識させ、適切な進路選択をさせる。
 - ・より良い人間関係を築くことができる社会的スキルを身につけさせる。

4 学年別年間指導計画の作成について

- ・性教育、薬害に関する指導の位置づけを明確にしておく。
- ・総合的な学習の時間との関連を考慮する。
- ・内容区分の比率については、学年の目標と実態に応じて考える。
- ・入学や進級に当たっての好ましい人間関係の形成という課題に対し、生徒がよりよく考え、行動できるよう適切な情報提供を行う。→ガイダンス機能の充実
- ・家庭や地域の人々との連携、外部講師の積極的な活用を工夫する。

5 学級目標について

(1) 学級目標とは

学級に対する「生徒一人ひとりの願い」と「教師の願い」のよりどころとなるもの。折に触れ、この目標を見上げ、自分たちの言動について振り返るもの。

(2) 作成にあたって

- ・「こんなクラスを作りたい」というみんなの願いを込める。(模造紙1枚程度)
- ・1年間をかけて到達をめざす目標とする。
- ・表現を統一しない。副題を付けても良い。

(例) 友愛～33人の団結力で、学年1の笑顔を目指そう～ 日進月歩
Open! 4次元ポケット～一人ひとりの個性を取り出そう～ パズル

(3) 学級目標達成のために

- ・日常の生徒観察
- ・定期的な生徒との評価(クラスがどのような状態であることが達成なのか、できれば○か×か、はっきり分かるような達成の姿も話し合わせる。)

(4) 学級目標の決め方

学年団で学年目標を共通理解した上で、学級経営目標とともに学級目標を決定する。なお、4月下旬には決定し教室背面に掲示する。。

6 学級掲示について

(1) 掲示内容と場所について

教室前面・・・他は避難経路図、連絡掲示、授業の心構えなど必要最低限にとどめ、生徒が授業に集中できるようにする。

教室背面・・・学級目標と人権目標を掲示し、常に目にすることで目標の実現に向けて意欲が高められるようにする。

班活動や当番ローテーション、生徒作品、個人目標などを掲示し、生徒の共通理解や学級や個人の成長を振り返りができるように工夫する。

(2) 諸注意

教室前面・・・黒板の左側（コルクボード）

黒板の上（画びょう使用不可の教室もある）

教室背面・・・ロッカーの上半分（コルクボード）は掲示可

○教室左右側面は、木材なので、できるだけ掲示はさける。

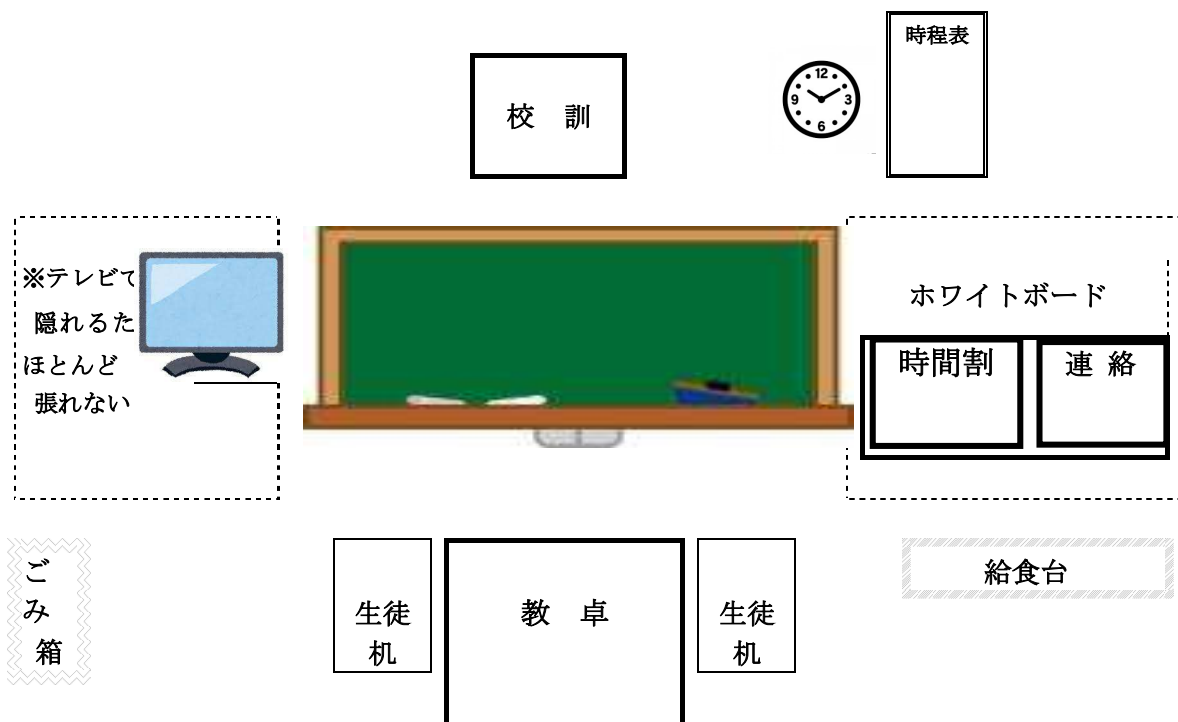
○ガムテープ・クギ等の使用はさける。

(3) 教室掲示例

〈教室前側〉

※必要最低限のものだけにする。掲示物を精選する。

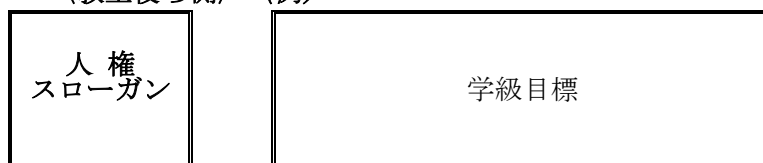
※生徒の集中力を高めるために、
クラスごとの個性を発揮するような掲示物は、前には貼らない。



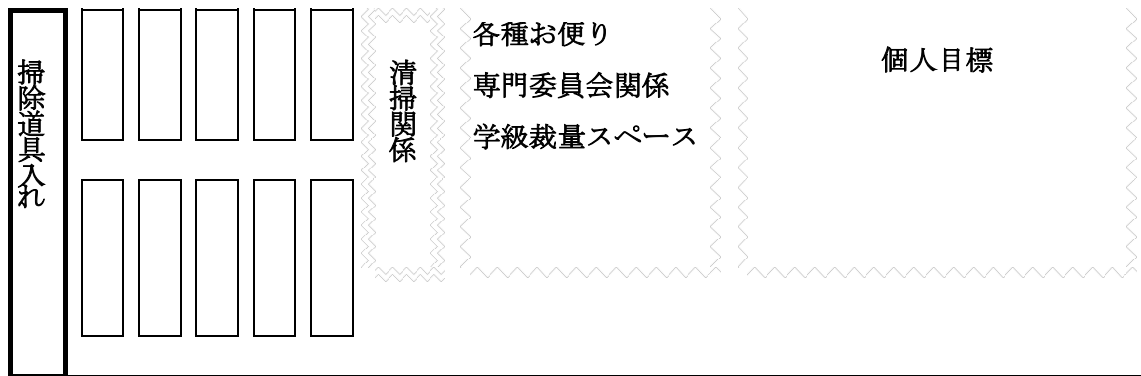
※給食献立や給食分担表を掲示する。

※確認事項や話し合い活動のマニュアル等を掲示してもよい。

〈教室後ろ側〉 (例)



班ポスター・各種分担



※避難経路を掲示する。

※前・後ろ側どちらもすっきりとした印象になるように工夫する。

学級の組織づくりについて

1. 学級の週番の仕事について

1 週間交代で、男女それぞれ出席番号順にペアを組んで活動する。

・仕事内容

- 朝、教室のホワイトボードに日付を記入
- 学級日誌の記入
- 移動教室の時の消灯・冷暖房のスイッチを切る
- 帰りの会の後、カーテンを束ねる。戸締まり、机の整頓、学級日誌の提出

2. 生活班について

・各クラス5つの班に分ける。（班員が6～8）

・係について

- 生活係・・・①毎朝提出される生活ノートを集めて、提出状況を確認後、職員室の担任の机まで提出する。
- ②教室の掲示物の管理をする。

※学年 NO.1 宣言（学級生活月目標）の決定・CHECK 等

- 企画係・・・①朝の会、帰りの会の司会をする。

※1分間スピーチの題決定

- 集配係・・・①登校後すぐに集配ボックス（職員室前）にある集配物を確認し教室に持って上がり、配布する。
- ②昼休み時間や掃除の後にも配布物がないか、確認する

- 美化係・・・①授業のあと黒板を消して、きれいにしておく。
- ②チョークの補充
- ③花の水かえなど、教室の美化活動を行う。

- 学習係・・・①3時間めの休憩時間までに職員室前の時間割黒板（ホワイトボード）・iPadを確認し、時間割を教室のホワイトボードに書き込む。

②まなびノートを集めて、進行状況を掲示する。

3. 委員会活動と教科係の仕事

○学級委員（学級の係）・・・各クラス男女1名ずつ学期毎に選出する。留任してもよい。

仕事 ①学年集会、終礼などでの整列、誘導の号令をかける。

②授業の始まり、終わりの号令をかける。

「起立」「服装を整えましょう」「気をつけ」「礼」（「お願いします。」とあわせて言った後礼をする。）「着席」

③学級討議、班長会などの司会をする。

④各クラスの学級委員で学年委員会を組織し学年行事の企画・運営を行う。

○生徒会委員会・・・保健委員	男女1名ずつ	※選挙管理委員
交安委員	男女1名ずつ	はクラス1名選出
図書委員	男女1名ずつ	
体育委員	男女1名ずつ	
生活委員	男女1名ずつ	
整美委員	男女1名ずつ	
報道委員	男女1名ずつ	
文化委員	男女1名ずつ	
給食委員	男女1名ずつ	
	学 校 週 番	男 女 1 名 ず つ

○委員会に所属しない生徒は教科係として活動を行う。

・教科係は昼休みを使って教科連絡を聞きに行く。

教科係（国語 社会 数学 理科 英語 音楽 美術 技術 家庭）

・総合・道徳・学活は学級委員が、保健体育は体育委員が連絡を聞きに行く。

4. 班活動ポスターについて

・誰が見ても、メンバーと係分担がはっきりわかるように、掲示物を作成する。

5. 給食当番について

・給食当番と配膳当番を班で分担し1週間交代で行う。

・給食当番・配膳当番の分担表を掲示しておく。（担任でなくても何班が給食当番で何班が配膳当番か、また誰が何の分担かが、わかるようにすること）

＊詳細については給食担当から

6. 掃除分担について

・生活班ごとに分担した場所に移動し掃除を行う。1週間交代で行う。

・教室の椅子を机の上に上げ、みんなで後ろに移動させる。

・掃除前に特別教室に行くときは、行く前に椅子と机を移動させておく。

・掃除はじめの会と掃除終わりの会を行う。班長が司会する。

＊詳細については清掃担当から

7. 「朝の会」と「帰りの会」について

・企画係が司会を行い、基本的な流し方を別紙のようにする。

8. 1年生の学級組織作りについて

1年生の学年初め学級組織作りについて、次のように配慮して生徒理解を深めながら決定をする。

・生徒が学校生活の流れをつかみ、委員会や係の活動内容を理解できるよう説明するとともに、体験させたり、上級生の仕事の様子を見学させたりして、自分の適性を考える時間をとる。

・エンカウンターなどの活動を取り入れて、クラスメイトの名前や顔が分かるようにしてから、学級委員や専門委員、係などを決定できるように配慮する。

・学級委員等の決定は生徒の意志を尊重しつつ、教師からも適切にアドバイスをする。

朝の会

※ 朝の会のチャイムが鳴ったら司会の企画係は前に出る

- 1 「これから朝の会を始めます。」
学級委員 「起立」「服装を整えましょう」「気をつけ」「礼」
全員 「お願いします」(礼) 「着席」
- 2 係・委員会から
 - ① 健康観察 (毎日)
「保健委員は健康観察をお願いします。」
 - ② 服装点検 (月・金)
「生活委員・学級委員は服装点検をしてください。」
 - ③ 給食着点検 (月)
「給食委員は給食着の点検をしてください。」
 - ④ ハンカチ・爪検査 (水)
「保健委員はハンカチ・爪検査をお願いします。」
 - ⑤ 提出物点検
「生活ノートを集めてください。」
「宿題を出してください。宿題のある教科は発表してください。」
 - ⑥ 係・委員会から
「係・委員会からの連絡があればお願いします」
- 3 先生から
「〇〇先生お願いします。」
司会の企画係は席に戻って「正座 礼」
話が終わったら
- 4 学級委員 「起立」「服装を整えましょう」「気をつけ」「礼」
全員 「ありがとうございました」(礼) 「着席」

帰りの会

※ 帰りの会のチャイムが鳴ったら司会の企画係は前に出る

※ 配布物はチャイムが鳴るまでに集配係が配っておく

- 1 「これから帰りの会を始めます。」
学級委員 「起立」「服装を整えましょう」「気をつけ」「礼」
全員 「お願いします。」(礼) 「着席」
「黙想・・・止め」(1分間)
- 2 生活ノート記入(3分間)
「生活ノートに記入してください」
- 3 明日の連絡
「教科係の人は明日の連絡をお願いします」
「1時間目 〇〇」; 「はい。……………です。」
～
「6時間目 〇〇」; 「はい。……………です。」
- 4 係・委員会からの連絡
各係、専門委員会等で連絡があればお願いします。
(金曜日) 給食委員会からお願いします。

- 5 1分間スピーチ(学級裁量)
「今日は〇〇さんです。お願いします。」
- 6 先生から
「〇〇先生お願いします」 司会の企画係は席に戻る
司会の企画係は席に戻って「正座 礼」
話が終わったら
- 7 挨拶
「起立」「服装を整えましょう」「気をつけ」(きちんとできてから)「礼」
「さようなら」

基本的にはこの流れで進めるが、各学年・各クラスの裁量によって工夫してもよい。

令和3年度 生徒会活動年間計画

○活動方針

各活動項目に目標を設定し、活動の反省や評価をし易くすることによって活性化を図る。

活動項目	目 標
生徒総会	話し合い活動を充実させ、意義のある生徒総会にしよう。
中央委員会	積極的に意見を出し合い、今よりもさらによい一中を築こう。
専門委員会	仕事に責任を持ち、委員会活動を盛り上げよう。
朝の放送活動	一日の目標を知り、自主的に読書を始めよう。
下校促進運動	時間内に速やかに下校しよう。
あいさつ運動	いつでも大きな声であいさつをしよう。
体育館使用の注意	体育館使用のルールを守り、楽しく安全に昼休みを過ごそう。
クラスマッチ	各学年の実態に即したクラスマッチを通じて、各クラスの団結力を磨いていこう。
部紹介・壮行式	部活動も、学校生活の中の重要な活動であることを自覚しよう。
文化祭	みんなで工夫・協力し、格調高い文化祭にしよう。
3年生を送る会	お世話になった3年生に、感謝の気持ちを表そう。

①話し合い活動の充実

- ・討議資料は事前に配布し、内容を検討できるようにする。
- ・質問だけでなく、前向きな意見がたくさん出るようにする。

②専門委員会による学校生活の向上

- ・専門委員会の前に委員長会を開き、検討内容等を確認する。
- ・原則として毎月最低1回は専門委員会の日を設定する。（基本的に第2水曜日）
- ・専門委員会活動での表彰や呼びかけを朝の会の時に行う。

③ボランティア活動の推進

- ・「ボランティア友の会」を立ち上げ、学校内外の奉仕活動を積極的に行い、地域の一員として活動することの意義を認識する。

④学校生活の充実

- ・生徒一人ひとりが生徒会の成員であることを自覚し、積極的に行動できるレベルにまで高める。
- ・学校の規則の意味を理解し、きまりを守ろうとする意識を高める活動を行う。

○執行部年間活動 一覧表

<通年の活動>

- ・執行部会，専門委員会，下校促進運動，あいさつ運動，朝の放送活動，体育館使用の注意

<その他の活動>

- ・4月の中央委員会で年間のクラスマッチの計画を立て、全専門委員会で協力して盛り上げていく。

月	活 動 内 容
4	<通年の活動> 部活動紹介，中央委員会、退任式、部活オリエンテーション
5	<通年の活動> 中央委員会，生徒総会
6	<通年の活動> 人権呼びかけ
7	<通年の活動> 運動会決起集会
8	<通年の活動> 執行部会
9	<通年の活動> 運動会，文化祭
10	<通年の活動> クラスマッチ ―2分前着席―
11	<通年の活動> 生徒会役員選挙，引き継ぎ事務
12	<通年の活動> スマホサミット
1	<通年の活動> 挨拶運動教化月間
2	<通年の活動> 新入生説明会
3	<通年の活動> 後期生徒総会，3年生を送る会